

神さまの救いをもらうのは、むずかしくありません。
神さまにしたがわなかった悪いことをみとめて、「神さま、
ごめんなさい。イエスさまの身代わりは、私の^{つみ}罪のためと信じます。」とお祈りしてください。

『すべて主イエスの名をよびもとむる者は、救わるべし。』（聖書）



このお話は聖書の「そうせい
いき」に書かれています。
聖書のこと、神さまのことを、
もっとくわしく知りたい人は、
ご連絡ください。

文：石黒イサク

すくいの船と虹



全世界が一度、大洪水によってほろぼされたことを、
聞いたことがありますか？ これは神話やおとぎ話では
なくほんとうにあったことです。それは神さまにつくられ、
生かされていながらしたがわず、悪いことばかりしていた
人たちに、神さまのさばきが下されたからです。

その大洪水から助かるために、神さまは一つの方法
をノアという人にあたえてくださいました。

それはとても大きな船でした。ノアたちはこの船をつくるのに、とても長い年月がかかりました。そして船ができたら、みんなに入るようにすすめていました。神様は陸上の動物や鳥・昆虫たちを、オス、メス、二匹ずつ船に入れて、絶滅しないようにされました。そのとき誰でも助かりたい人は入ることができました。

しかし神様にしがわらない人たちは、大雨がふることも、神様のさばきも信じなかったので、船に入りませんでした。



やがてノアの家族8人と動物たちや鳥たちが入ると、神様は入口の戸を閉めました。7日後に雨がふりはじめ、40日間ふりつづきました。また大地震などもおこり、地球はすっかりかわり、全世界は水のなかにしずみ、船に入らなかった人たちと生き物は、みんな死んでしまいました。

雨がやんで五ヶ月後、船はアララテ山に止まりました。それから半年たって神様は、ノアたちに船から出てきなさいと言われました。ノアたちが神様に感謝をささげたときに、「二度と全世界を大洪水でほろぼさない」という約束のしるしを、空に出してくださいました。それが“虹”なのです。わたしたちは今も、虹を見ることができますね。神様は大むかしからの約束をかわらずに、今も守ってられます。

しかし人間たちはどうでしょう？ ノアのこどもたちから人類は再スタートしましたが、またもや自分勝手な生き方をして、神様にしがわらず、悪いことをつづけています。きよく正しい神様は必ず、また悪い世界をさばかれます。世の終わりには、火でほろぼされ、地球もなくなってしまいます。どうしたら私たちは助かるのでしょうか？

ノアの時と同じように、神様はさばきの前に、救いの道をあたえてくださいました。それが主イエス様の十字架です。神様にしがわらないことや悪いことを罪といひます。罪を持ったままで、神様のさばきを受ければ、必ず神様のばつを受けなければなりません。そこでイエス様が私たちの身代わりに十字架でばつを受けてくださったのです。自分が悪かったことをみとめて、イエス様を信じる人の罪はゆるされます。

『信ずる人は、とこしえのいのちを持ち、さばきにいたらず…』とイエス様は、ハッキリと救いの約束をしてくださいました。

